

国連中央緊急対応基金(CERF)の概要

1. 概要

(1) 設立経緯及び本部・組織

2005年のG8グレンイーグルズ・サミットの合意及び同年9月の第60回国連総会・世界サミットで合意された成果文書に従い、2006年3月に中央緊急回転基金(Central Emergency Revolving Fund)を改組・発展させ、中央緊急対応基金(Central Emergency Response Fund: CERF)が設立されました。国連人道問題調整部(OCHA)内に、CERF事務局が設置されています。

(2) 主な活動内容

①大規模な災害や紛争の発生時に、緊急人道支援の初動財源を補填することで被害の拡大を最小限にすること、②ドナーからの援助が行き渡らない資金不足の人道状況(いわゆる「忘れられた危機」)への対応を可能にすることを目的として、国連人道機関に対し資金を拠出します。

(3) CERFの長

マーティン・グリフィス人道問題担当国連事務次長兼緊急援助調整官が基金の資金配分の決定を行います。

(4) 職員数(2022年6月現在) * OCHAの職員数

国際専門職員は785人。邦人専門職員は11人(専門職全体の約1.4%)。

2. 我が国との関係

我が国は、国連等の各種人道支援機関を通じた人道支援外交を重視しています。CERFが行う大規模災害・紛争への緊急対応や忘れられた危機への対応は、効果的な人道支援の実現及び我が国の推進する「人間の安全保障」の実現に資するものであることから、我が国はCERFを重要視しています。

なお、CERFへの拠出は人道危機に対する国際社会としての責務を積極的に共有する姿勢であるとともに、国際人道システム強化へのコミットメントと受け止められており、これまでに途上国を含む132か国がドナーとなっています。

3. 諮問機関

IASC(機関間常設委員会)、CERF 諮問委員会が諮問組織として機能。後者は年2回会合を開催し、政策面の助言を行うとともに運用状況等を検討。

これまでに、鶴岡浩二総合外交政策局長(2008~2011年)、長有紀枝難民を助ける会理事長(2012年~2013年)、木山啓子 JEN 代表理事(2016年~2019年)がCERF諮問委員を務めました。

4. 各国の拠出状況 (単位:千米ドル)

	2018年			2019年			2020年			2021年(直近)		
	国名	拠出額	拠出率	国名	拠出額	拠出率	国名	拠出額	拠出率	国名	拠出額	拠出率
1	英国	114,324	20.59%	英国	394,568	47.46%	ドイツ	125,231	20.07%	ドイツ	153,378	24.02%
2	ドイツ	109,561	19.73%	ドイツ	105,422	12.68%	オランダ	95,782	15.35%	オランダ	95,162	14.91%
3	スウェーデン	85,128	15.33%	スウェーデン	82,302	9.90%	英国	88,599	14.20%	英国	88,538	13.87%
4	オランダ	65,472	11.79%	オランダ	61,056	7.34%	スウェーデン	80,780	12.94%	スウェーデン	70,374	11.02%
5	ノルウェー	55,284	9.96%	ノルウェー	53,070	6.38%	ノルウェー	52,406	8.40%	ノルウェー	54,795	8.58%
6	カナダ	22,762	4.10%	デンマーク	25,433	3.06%	デンマーク	31,257	5.01%	デンマーク	32,483	5.09%
7	デンマーク	21,453	3.86%	カナダ	21,652	2.60%	ベルギー	24,980	4.00%	カナダ	23,424	3.67%
8	ベルギー	14,718	2.65%	ベルギー	19,259	2.32%	スイス	24,236	3.88%	フィンランド	20,621	3.23%
9	アイルランド	14,065	2.53%	アイルランド	11,279	1.36%	カナダ	21,904	3.51%	ベルギー	20,587	3.22%
10	オーストラリア	8,644	1.56%	フィンランド	9,038	1.09%	フィンランド	15,335	2.46%	イタリア	17,114	2.68%
予算総額	52ヶ国	555,328	100.00%	59ヶ国	831,379	100.00%	61ヶ国等	624,053	100.00%	62ヶ国等	638,453	100.00%
日本の順位	20位 日本	1,361	0.20%	23位 日本	680	0.08%	29位 日本	264	0.04%	34位 日本	130	0.02%